

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立久喜特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	平成26年度に目指す学校像が見直され、学校の目指す方向が明確に示された。アンケートなどを詳細に分析し、地域や保護者の期待に十分応え、学校の特色や強みを生かしたものにできると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	今年度、学校関係者評価を踏まえ重点目標の一部を加筆修正した。学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。課題を解決するため、地域・保護者などの期待や児童生徒の実態を踏まえ、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	年度当初に「校内評価のPDCAサイクル」を教職員に提示し、10月に中間評価を実施し、年度末には寄せられた意見への対応状況をフィードバックするなど、学校自己評価システムが組織的かつ円滑に運営されている。「重点目標、評価項目、具体的方策」の連鎖がやや不十分であるので、更に本システムが十分機能するよう工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、学部・分掌・委員会のシートが作成されている。学校全体のシートの方策が前年踏襲型となっているので、より具体的なものにするとともに、評価指標については、取組指標と成果指標をうまく組み合わせで分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な方針を持ち、学校経営に取り組んでいる。校長のリーダーシップが的確に発揮され、「生徒のニーズに応じた高等部教育課程の実現と各学部の教育活動の検証」等が推進されるなど、教職員全体で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者評価や保護者アンケート結果を分析・考察して教職員に示し、課題の共通理解を図っている。学校自己評価システムを有効に活用し、前年度の課題を次年度の目標・方策に具体的に生かせるように、更にPDCAのスパイラルアップを進めていただきたい。	
特記事項			